



学校教育活動保護者アンケートについて

保護者アンケートの結果についてお知らせいたします。なお、項目ごとの結果については裏面資料をご参照ください。

(全児童数で配付、回答率92%)

【集計結果より】

(1) 学習面から

- ・ 「わかりやすい授業づくり」と「家庭学習の定着」についての項目1では、プラス評価（A+B 以下同じ）が2ポイント下がり89%という結果になりました。そしてマイナス評価（C+D 以下同じ）が11%となりました。この結果をしっかりと受け止め、指導方法の工夫と改善、家庭学習定着への取り組みに努めていきます。
- ・ 少人数指導等について尋ねた項目2は、プラス評価が前回より3ポイント高くなりました。3年生以上で、算数を中心とした少人数指導を進めてきました。プラス評価がさらに伸びるよう、今後も少人数指導の形態などを工夫し、個に応じたきめ細かな指導に努めていきたいと考えます。
- ・ 読書についての項目3では、プラス評価が95%と、昨年度と同じく高評価となっています。絵本劇場や朝読夕読週間、ブックママによる読み聞かせなどの取り組みや図書館だよりによる情報発信が、保護者の理解につながったと思われます。図書館司書やブックママとも連携をしっかりと取りながら、読書への関心を高めていく取り組みを進めていきます。

(2) 生活面から

- ・ 項目4～6は、個性や人権を尊重する教育、規範意識を培う教育について尋ねた項目です。プラス評価が80～88%と概ね高い評価を得ていますが、項目4と5ではマイナス評価も20%近くあり、全項目の中では高くなっています。日頃の人権教育や道徳教育が、実際の場面で子どもたちの生きて働く力に十分つながっていないと感じている方や、子ども一人一人をもっと理解してほしいと願う方が多い結果となりました。

全職員で、一人一人の子どもたちが安心して学校生活を送れるように努めていかなければならないと確認しました。今後も教育相談等を通して、一人一人に目を向けた児童理解を大切にするとともに、計画的な人権教育やいじめ等に対する指導など、子どもたちの人権が大切にされ、お互いが認め合える学級・学校づくりに努めていきます。

(3) 健康・安全面から

- ・ 項目7はプラス評価が94%と高評価を得ました。健康教育や施設整備に取り組むとともに、安全を意識して生活しようとする態度の育成に努めていきます。

(4) 開かれた学校づくりから

- ・ 項目8はプラス評価が94%と2ポイント高くなりました。今後も各通信やHP等の充実を図り、学校の様子をわかりやすく伝えていくよう努めていきます。
- ・ 項目9は昨年度と大きな変化はなく高評価を得ています。授業参観やオープンスクール等を継続し、今後も開かれた学校づくりに努めていきます。

【自由記述より・・・】

職員が元気になる言葉を含め、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を十分検討し、今後の教育活動に生かせるよう努めていきます。主なご意見とそれに対する現時点での方向性や考えは次の通りです。

○ 少人数指導を継続してほしい。また、3年生以上でも30人以下学級を実施してほしい。

⇒ 本校での少人数指導は、3年生以上の算数での少人数指導と1・2年生の1学級30人以下編制があたります。少人数にすることで、より1人1人に寄り添った指導が可能となり、理解度や習熟度があがります。また、子どもたちにも発表する回数が増えたり質問がしやすかったりなどの良い点があります。子どもたちの状況や学習する内容（単元）などによって、より効果的な形態をとるようにしながら少人数指導を継続していきたいと考えています。

3年生以上での30人以下編制については、国の方針で1学級の児童数が40人以下と決まっているため実現していません。そこで、少人数指導のために配置される教員数に応じて、算数を中心とした少人数授業を行っています。

○ 宿題の内容に差があるように感じます。

⇒ 年度始めに、学年で内容や量について検討し、学年としての基本線をそろえるようにしています。しかし、その日の学習内容によって、ある程度の差は出てくることもあります。宿題は、学習内容の定着を図ることと家庭学習の習慣を養うことを大きなねらいとしています。学年で検討した基本線を定期的に確認するなどして、学級によって大きな差が生じないように努めていきます。

○ 読書活動に力を入れてもらっている。さらに本好きな子どもを育てる取り組みを進めてほしい。

⇒ プラス評価も95%と高い評価を得ています。図書館司書やブックママと連携し、継続した取り組みを進めていきます。

○ いじめや差別がなく、子どもたちが安心して生活できる学校にしてほしい。

⇒ 人権教育目標・道徳教育目標を基に、各学年目標と取り組みの重点項目を設定し計画的に進めています。しかし、実際の生活の中で実践力として十分に身につけているとは言えない状況にあります。教育相談やQ/U調査・いじめ調査などで個々の子どもたちの理解を図るとともに、子どもたちの実態にあった教材等を活用して子どもたちの実践力が育つよう努めていきたいと思ひます。

学校全体で、日々子どもたちが安心して生活できる学校を目指していますが、お子様のことで心配な事が出てきましたら担任にご相談ください。

○ 交通安全への意識やあいさつなどの社会生活のルールについて身につけさせてほしい。

⇒ 登下校時や帰宅後の交通安全意識やあいさつなどについて多くの意見をいただきました。学校では、登校班班長の毎月の報告を受けて、学期ごとの地区別児童会、職員による定期的な登下校指導、各学年での安全指導、交通安全教室などを通して子どもたちへの安全指導を行っています。しかし、一番の基本は家庭での安全への言葉かけや教育だと考えています。また、地域の方々のご協力も欠かせません。あいさつについては、あいさつできる子が増えてきたというご意見も一方でいただいています。しかし、まだまだ充分ではないと考えています。これからも保護者や地域の皆様と連携を図りながら、継続して指導にあたっていきます。

○ 今後も各種通信やHP等での情報発信、オープンスクールなどでの開かれた学校づくりを進めてほしい。

⇒ 項目8・9になりますが、両方とも高い評価を得ている部分ですので今後も努力していきます。学級通信は担任の裁量によるところが大きいので、発行回数などを統一することはしていません。しかし、子どもたちの様子をお知らせするツールの一つとして大切に考えていきたいと思ひます。

また、HPへコメントを書き込むようにできないかというご意見をいただきました。現在の学校HPは市のサーバーで一括管理されています。そのため、ひとつの学校だけシステム変更をすることは難しい状況にあります。ご理解をお願いいたします。

○ 運動場を駐車場として開放できないか。

⇒ 運動場を駐車場として使用すれば、来校される保護者の皆様が大変便利であることは十分理解しています。申し訳ありませんが次のような理由で原則として開放は考えていません。(緊急時等で開放した方が良いと判断する場合があります)

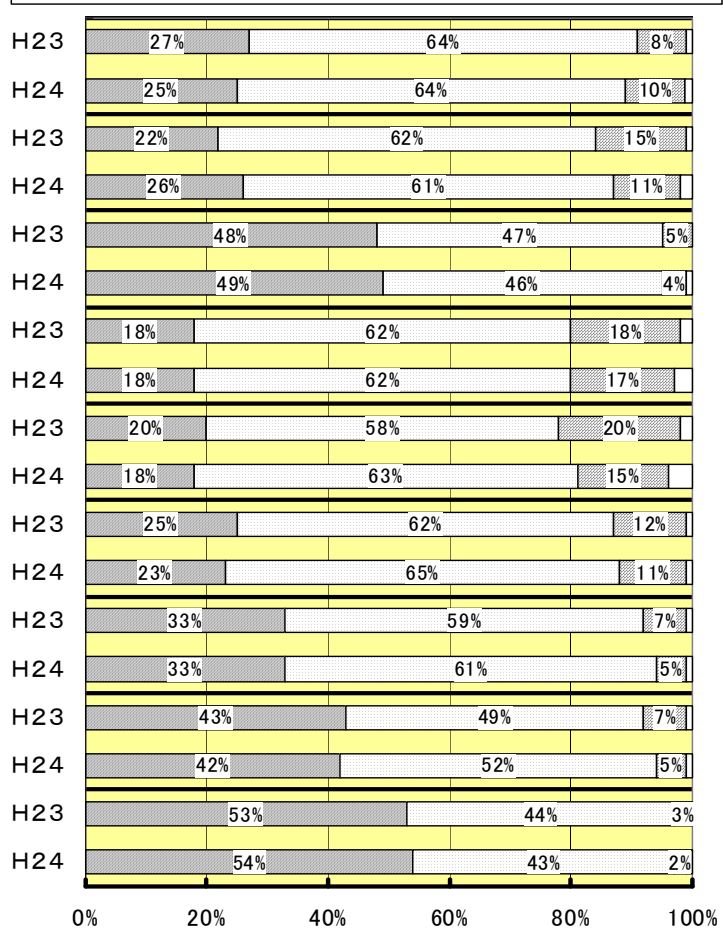
- ・ 子どもたちの学習の場である。
- ・ 開放すれば車の数が増えることが予想され収容能力的に無理がある。また、子どもたちの安全面での問題が大きい。誘導係も必要になり対応が難しい。
- ・ 土地改良区の道路を利用させてもらえる。 ◆周辺道路への駐車についてはご遠慮いただきますようお願いいたします。◆

学校だより 資料

H24 教育活動アンケート集計結果(保護者)

No	質問項目	年度	A	B	C	D	A+B
1	基礎学力向上のため、分かりやすい授業づくりや家庭学習の定着に取り組んでいる。	H23	27%	64%	8%	1%	91%
		H24	25%	64%	10%	1%	89%
2	少人数指導やチームティーチングなど授業形態を工夫し、一人ひとりに応じたきめ細かな授業づくりに取り組んでいる。	H23	22%	62%	15%	1%	84%
		H24	26%	61%	11%	2%	87%
3	「読み聞かせ」や「朝読・夕読週間」等の読書活動によって、本好きな子どもを育てる取り組みを進めている。	H23	48%	47%	5%	0%	95%
		H24	49%	46%	4%	1%	95%
4	いじめや差別を許さない態度を育て、人権や個性を尊重する教育が進められている。	H23	18%	62%	18%	2%	80%
		H24	18%	62%	17%	3%	80%
5	教育相談等を通して、子ども一人ひとりの理解を深め、子どもの気持ちに真剣に対応している。	H23	20%	58%	20%	2%	78%
		H24	18%	63%	15%	4%	81%
6	学校生活のきまりや社会生活のルールなど、規範意識を身につける教育が進められている。	H23	25%	62%	12%	1%	87%
		H24	23%	65%	11%	1%	88%
7	健康で、安全な学校生活を送ることができるよう、指導に努めている。	H23	33%	59%	7%	1%	92%
		H24	33%	61%	5%	1%	94%
8	各種通信やホームページなどで、学校や子どもの様子を分かりやすく伝えている。	H23	43%	49%	7%	1%	92%
		H24	42%	52%	5%	1%	94%
9	保護者、地域の人々に授業公開し、開かれた学校づくりに努めている。	H23	53%	44%	3%	0%	97%
		H24	54%	43%	2%	1%	97%

左から、A(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)



A…十分 B…おおむね十分 C…やや不十分 D…不十分